

## 事業報告 「外国人を対象とした防災セミナー」

3月11日（土）に「外国人ための防災セミナー」を実施しました。今回は、静岡市国際交流協会が毎週土曜日に開講している「生活者としての外国人のための日本語教室」の学習者を中心に参加を呼びかけました。また、この日本語教室の日本語サポーターの方にも一緒に参加していただきました。

まずは昼食を兼ねて、アルファ化米を試食しました。続いて、バスで駿河区にある防潮堤、津波避難ビル、津波避難タワーを訪れ、ビルとタワーにはそれぞれ実際に上ってみました。その後、中央体育館に移動して地震に関するクイズを実施し、避難方法の知識とそれに関連する日本語を学びました。また、被災時に役に立つ便利なグッズも紹介しました。例えば、水がなくても洗髪できるシャンプーや、体を清潔に保つ清浄剤、簡易トイレなどです。参加者は、被災してから支援が届くまで、不便な生活がしばらく続くことを、これらのグッズからより具体的に理解したようでした。

このセミナーで、話を聞くだけでなく、避難場所を訪れたり、グッズの実物を見ることで、知識も言葉も定着し、日々の生活の中で防災を意識する機会が増えていくことを望みます。



津波避難ビルの説明を聞く参加者



防災関連グッズの紹介

## 退任のあいさつ 杉山 裕一

本年3月末をもって退職することとなりました。在職中は皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。振り返ればあっという間の1年でしたが、静岡市の姉妹都市であるアメリカ・ストックトン市やシェルビービル市との中高生の交流事業やストックトン市の教員受入れ、また、韓国・水原市の学生受入などの交流事業において、ホームステイの受け入れなどで、多くの方々や団体のご協力をいただきました。多文化共生事業では、生活者としての外国人のための日本語教室の日本語サポーターの皆様や、11月に開催された異文化コミュニケーション体験フェアにおいても、多くの方々フェア運営委員会や当日のボランティアとして活動して頂き、8千人近くの入場者がありました。また、10月には、姉妹都市であるフランス・カンヌ市へ親善使節団を派遣し交流を深めることができました。これらをはじめとして当協会の事業は皆様のご協力があって初めて成り立つものです。多文化共生社会の実現やMICEの推進による交流人口の増加などに向けて、今後も取り組むべき課題が多々ありますが、皆様方のより一層のお力添えを賜りますよう切にお願いし、退任の挨拶とさせていただきます。



## 平成29年度会員募集中！

うれしい会員特典がイロイロあります。



- 情報誌「SAME」を毎月ご自宅に送ります。
- 協会の書籍・民族衣装を無料で貸出します。
- 各種講座に優先的にご参加いただけます。
- 参加費の割引がございます。

### 年会費

個人会員：1口 2,000円  
団体・法人会員：1口 10,000円

※なお、年度の途中で入退会されても年会費の割引・返金等を行っておりませんので、ご了承ください。